

目的別ソフトウェアガイド

目次

MOメディアをフォーマットしたい.....	4
作業中にリアルタイムでMOメディアにバックアップしたい.....	6
MOメディア内のデータを完全に消去したい。.....	8
PCのシャットダウン時にMOメディアを自動的にイジェクトしたい.....	9
内容の同じMOメディアを何枚も作りたい.....	10
1.3GB以上のMOメディアにセキュリティ機能を持たせるには？.....	12
MOドライブのメディアID機能を有効にしたい.....	15
デジカメの画像データをMOメディアで管理したい.....	17
各ソフトウェアのオンラインマニュアルの参照方法.....	19

MO メディアをフォーマットしたい

使用するソフトウェア：

「Logitec ディスクフォーマッタ」



「Logitec ディスクフォーマッタ」は、簡単な操作で MO メディアのフォーマットが可能です。

フォーマットはマウスのクリックだけで簡単に実行でき、すぐに使える状態になります。

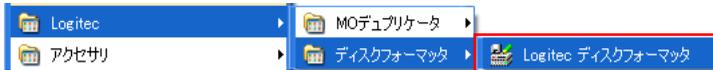
また、物理フォーマットにも対応しています。メディアに不良セクタがある場合、物理フォーマットを行うことにより、不良セクタの代替処理を行うことができます。

データのリカバリ(復元)機能があります。誤ってフォーマット上で MO メディアをフォーマットしてしまった場合、フォーマットの直後であれば、データのリカバリが可能です。

フォーマット方法

パソコンに MO ドライブを接続しておいてください。まだ、MO メディアはセットしないでください。

「スタート」 - 「(すべての) プログラム」 - 「Logitec」 - 「ディスクフォーマッタ」 - 「Logitec ディスクフォーマッタ」と選択してディスクフォーマッタを起動してください。



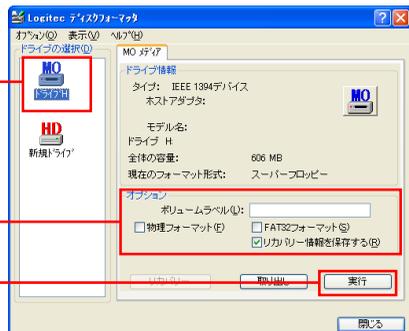
以下の画面が表示されたら、MO ドライブのアイコンをクリックし、MO ドライブにメディアをセットして、オプションを選択し、「実行」ボタンをクリックしてください。フォーマットが実行されます。

オプション内の設定については次ページをご参照ください。

1. 選択してメディアをセット

2. オプションを設定

3. 「実行」をクリック



「オプション」では物理フォーマットを行うかFAT32フォーマット（640MB以上のメディアのみ）を行うかを選択できます。

「リカバリー情報を保存する」にチェックを入れた場合は、誤ってフォーマットを行った場合に、データのリカバリーを行うことができます。ただし、フォーマット後にメディアに書込みを行った場合はリカバリーできません。また、物理フォーマットを選択した場合は、この項目自体選択することができません。

詳しい使用方法については「Logitec ディスクフォーマッタ」のユーザーズマニュアルをご参照ください。

作業中にリアルタイムでMOメディアにバックアップしたい

使用するソフトウェア：

「Logitec フォルダミラーリングツール」



「Logitecフォルダミラーリングツール」は、常駐型バックアップツールです。システムにインストールするとタスクトレイに常駐します。

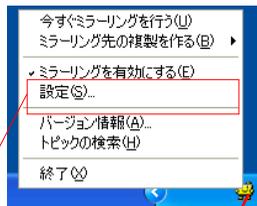
フォルダ単位でのミラーリング環境を提供し、指定されたフォルダを監視して、変更されたファイルをバックアップ先のフォルダに自動的にコピーします。ファイルの変更を検出した時点でコピーを行い、コピーは全て自動で行われるため、バックアップ作業を特に意識する必要はありません。頻繁に変更のかかるデータのバックアップに、特にお勧めです。

設定方法

パソコンにMOドライブを接続し、ドライブにバックアップに使用するMOメディアをセットしておいてください。

フォルダミラーリングツールのアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「設定」ボタンをクリックしてください。

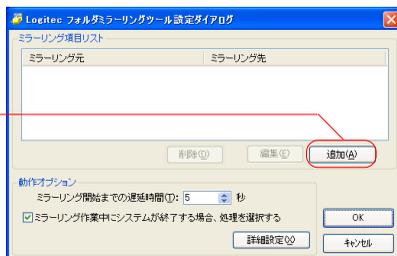
2. 設定を選択



1. 右クリック

「設定ダイアログ」が表示されます。「追加」ボタンをクリックしてください。

このボタンをクリック



「項目編集ダイアログ」が開きます。

ここで、バックアップ元フォルダとバックアップ先フォルダを指定します。

3-1

「ミラーリング元フォルダのパス指定」にバックアップ元フォルダを指定してください。

3-2

「ミラーリング先フォルダのパス指定」にMOメディア内のフォルダを指定してください。

参照ボタンをクリックしてMOドライブを指定することもできます。MOメディア内にフォルダがない場合、参照ボタンをクリックした後に表示される「フォルダの指定」ダイアログでフォルダを作成することができます。

3-3

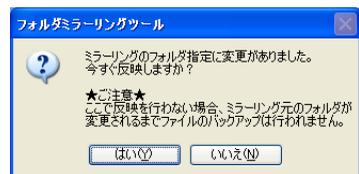
指定ができたなら「OK」ボタンをクリックします。



「Logitech フォルダミラーリングツール設定ダイアログ」に戻ります。ここで再度「OK」ボタンをクリックすると設定は完了です。

右のメッセージボックスが表示されます。

「はい」ボタンをクリックしてください。



以上で設定は終了です。

詳しい使用方法については「Logitech フォルダミラーリングツール」のユーザーズマニュアルをご参照ください。

MO メディア内のデータを完全に消去したい。

使用するソフトウェア：

「Logitech ディスクデータイレサ」



「Logitech ディスクデータイレサ」は、ディスク内に保存されているデータを完全に消去するソフトウェアです。ハードディスクやMOメディアを破棄する際に、情報の漏洩を防ぐために使用します。フォーマット情報も含めて、ディスクの全領域にランダムなデータを上書きするため、ディスク内の情報を完全に消去することが可能です。データは完全に消去されるため、復旧することはできません。使用する際には、十分な注意が必要です。

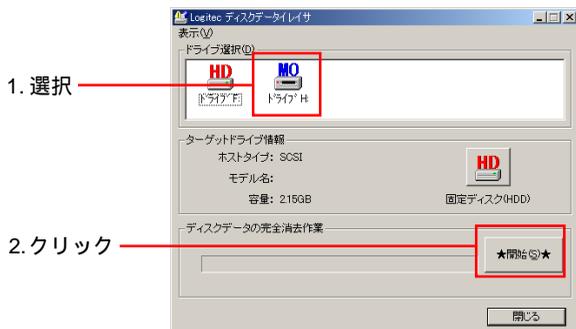
消去方法

パソコンにMOドライブを接続し、ドライブにデータを消去したいMOメディアをセットしておいてください。

「スタート」 - 「(すべての) プログラム」 「Logitech」 - 「ディスク データ イレサ」と選択してください。



ディスクデータイレサが起動しますので、「ドライブ選択」リストでメディアがセットされているMOドライブのアイコンをクリックし、「開始」ボタンをクリックしてください。



簡単な操作でデータを完全に消去してしまうという性質上、実行する場合には十分な注意が必要です。誤って他のドライブのデータを消去してしまった場合でも、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

PCのシャットダウン時にMOメディアを自動的にイジェクトしたい

使用するソフトウェア：

「Logitech イジェクトコントローラ」



MOメディアのオートイジェクトを行う常駐型ソフトウェアです。「Logitech イジェクトコントローラ」は、OSのシャットダウン時に、MOドライブにセットされたままのメディアを感知して、自動的にMOメディアを排出しますので、メディアの取り忘れを防ぐことができます。「キー」の組み合わせによりMOメディアの排出を行う設定ができます（ホットキー機能）。キーボード上からMOメディアの排出の操作ができますので、とても便利です。

設定について

Logitech イジェクトコントローラは、いったんインストールすれば、デフォルトの状態ですべてOSのシャットダウン時にメディアを排出するように設定されています。

詳しい使用方法については「Logitech イジェクトコントローラ」のユーザーズマニュアルをご参照ください。

内容の同じ MO メディアを何枚も作りたい

使用するソフトウェア：

「Logitec MO デュプリケータ」



「Logitec MO デュプリケータ」は、MOメディア内のデータを、別のMOメディアへまるごと複製することができます。MOメディア内のデータをまるごとバックアップしたい時や、内容の同じMOメディアを何枚も作成したい時に便利です。MOメディア内のデータをHDドライブにイメージ化し、別のMOメディアへまるごと複製することができます。MOユニットが2台ある場合、オンザフライで書き出すことが可能です。

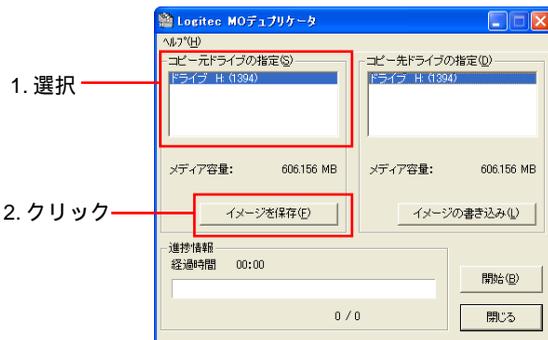
複製手順

パソコンにMOドライブを接続しておいてください。

「スタート」 - 「(すべての)プログラム」 - 「Logitec」 - 「MO デュプリケータ」 - 「Logitec MO デュプリケータ」と選択してください。



Logitec MO デュプリケータが起動し、以下のダイアログボックスが表示されます。MOドライブに元となるデータが保存されているMOメディアをセットし、「コピー元ドライブの指定」でドライブを指定し、「イメージを保存」ボタンをクリックしてください。

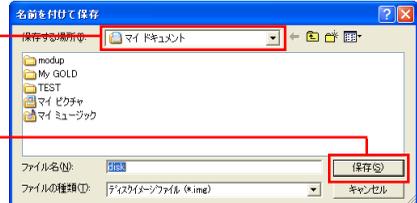


「名前を付けて保存」ダイアログボックスが開きます。

ここで保存するファイル名を指定して「保存」ボタンをクリックすると、作業が開始されます。

1. 保存場所を指定

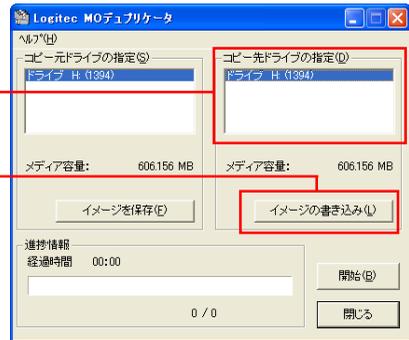
2. クリック



イメージファイルの保存が終わったら、次に、「コピー先ドライブの指定」でドライブを指定し、複製を行うMOメディアをMOドライブにセットし、「イメージの書き込み」ボタンをクリックしてください。

1. 選択

2. クリック

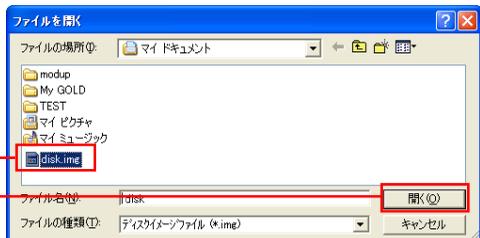


「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。

ここでファイルを選択して「開く」ボタンをクリックすると複製が開始されます。コピー元とコピー先のMOメディアは同じサイズでなければなりません。

1. ファイルを指定

2. クリック



複数のメディアに同じ内容のデータを書き込みたい場合、手順 ~ を繰り返します。

詳しい使用方法については「Logitech イジェクトコントローラ」のユーザーズマニュアルをご参照ください。

1.3GB 以上の MO メディアにセキュリティ機能を持たせるには？

使用するソフトウェア：

「GIGAMO 用セキュリティツール：SecureMO Light28」

GIGAMO メディアに対して、パスワードの設定ができるソフトウェアです。

「GIGAMO 用セキュリティツール」は、GIGAMO メディア（2.3GB/1.3GB の MO メディア）にパスワードを登録し、大切なデータを第三者から守ります。セキュリティツールからパスワードを入力しないと MO メディア内のデータを読むことができませんので、MO メディアの盗難や紛失などから、データの漏洩を防止することができます。

GIGAMO(2.3GB/1.3GB の MO メディア)専用のツールです。640MB 以下のメディアではご使用になれません。



設定方法について

「スタート」 - 「(すべての)プログラム」 - 「SecureMO Light28」 - 「SecureMO Light28」と選択してください。



GIGAMO メディアを MO ドライブにセットし、「SecureMO Light28」を起動します。ここで MO メディアの状態が表示されない場合は、「最新の情報に更新」ボタンをクリックしてください。

クリック



MOメディアがフォーマットされていない場合、ツールメニューより、「フォーマット」を選択してください。

選択



Windows 付属のフォーマッタが起動するので、画面の指示に従いフォーマットを行ってください。

⚡ ご注意

NTFS でフォーマットされたディスクではセキュリティ機能が正しく動作しません。フォーマットは FAT32 または FAT で行ってください。

ツールメニューより、「セキュリティディスクの作成」を選択してください。

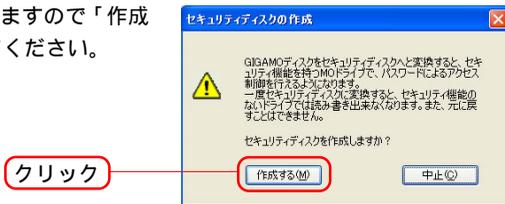
選択



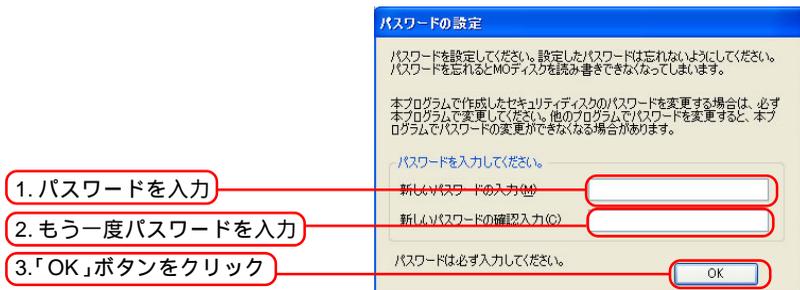
⚡ ご注意

セキュリティディスクに設定したGIGAMOメディアは物理フォーマットすることはできません。

確認のメッセージが表示されますので「作成する」ボタンをクリックしてください。



「パスワードの設定」画面が表示されます。「新しいパスワードの入力」欄にパスワードを半角英数字28文字以内で入力し、「新しいパスワードの確認入力」欄にもう一度パスワードを入力します。入力後「OK」ボタンを押してください。



以上でセキュリティディスクの設定は終了です。

MO ドライブのメディア ID 機能を有効にしたい

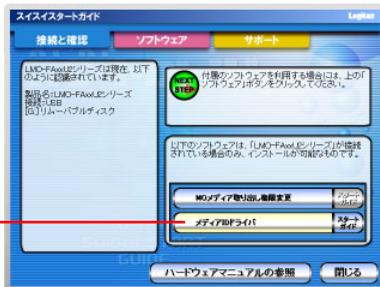
メディア ID とは、メディア ID 対応の MO メディアに著作権保護の目的で記録された変更不可能な固有の番号です。ブロードバンドコンテンツ配信サービスなどで、メディア ID を前提とした著作権保護が施されたコンテンツを保存 / 再生するには、メディア ID に対応した MO メディアおよび MO ドライブが必要です。

本 MO ドライブでメディア ID 機能を使用するためにはメディア ID 対応ドライバをインストールする必要があります。メディア ID 対応ドライバは、付属の CD-ROM よりインストールすることができます。以下をご参照ください。

インストールについて

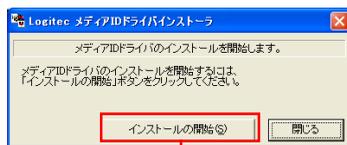
スイスイスタートガイドの手順に従い、MO ドライブの接続を行うと、右のような画面が表示されます。ここで、「メディア ID ドライバ」をクリックしてください。

クリック



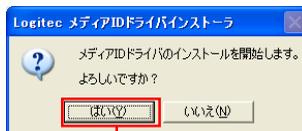
インストーラが起動するので「インストールの開始」ボタンをクリックしてください。

クリック



確認のメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックしてください。

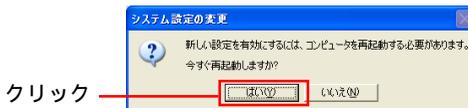
クリック



インストール中に右のようなメッセージが表示された場合は、「続行」ボタンをクリックしてください。



インストールが終了すると右のメッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。再起動後 MO ドライブのメディア ID が有効になります。



メディア ID 対応コンテンツ

コンテンツのダウンロード、及び MO メディアへの保存方法に関しては、下記の Web サイトを参照してください。

<http://moclip.com/>

デジカメの画像データを MO メディアで管理したい

使用するソフトウェア：

フォトエクスプローラ

Ulead® Photo Explorer®
SE Basic

デジタルカメラやスキャナー画像、Web画像データの取り込みから管理まで直感的な操作ができるとても便利なデジタル画像管理ツールです。

MOメディアはデータアクセスの簡単さやメディアの扱いやすさに加えて、データの長期保存に適していますので、デジカメ写真などの画像データのライブラリー化に最適です。

ソフトウェアの概要

- ・「Ulead Photo Explorer」は、MO メディア毎にジャンルを分けてデジタルアルバムを作成するなど、ライブラリーの管理に役立つソフトウェアです。画像データのサムネイル表示が非常に高速ですので、MO メディア内の画像データの検索も手軽に行うことができ、MO メディア上で直接整理作業を行っても、ストレスを感じることはありません。
- ・デジカメ写真のデータなどは、同じような名前のファイルがいくつもできてしまいがちです。ファイルの名前を自動的に変更する機能がありますので、非常に管理が楽になります。
- ・ファイルの作成日に基づき、カレンダー形式で管理することもできますので、月日を指定してファイルを一覧表示することができます。
- ・画像データを確認しながら、明度とコントラスト、カラーバランス、色調といった調整を行うことができます。これらの調整を自動的に行うことも可能です。
- ・画像データのファイル形式をまとめて変換したり、サウンドを追加することができます。

Ulead Photo Explorer の起動

「Ulead Photo Explorer」を起動するには、インストール後デスクトップに作成されたショートカットのアイコン(右のアイコン)をダブルクリックしてください。



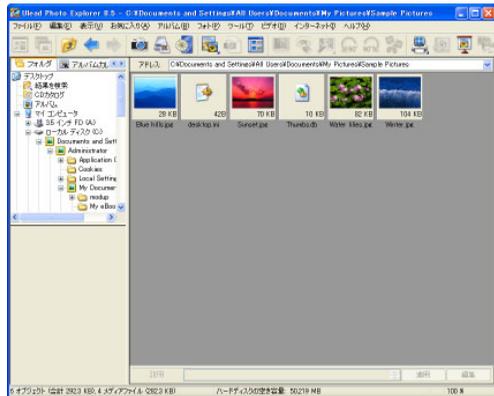
Ulead Photo Explorer 8...

デフォルトのままインストールを行った場合、右のイーजीアクセスウィンドウが表示されます。

行いたい操作を選んで、アイコンをクリックすると、それぞれの操作を行うためのダイアログボックスや、ウィザードが表示されます。



イーजीアクセスウィンドウを閉じると、下の画面が表示されます。画像の管理・編集はツールバーやメニューバーより行います。



使い方について

詳しい使い方については、「Ulead Photo Explorer」のヘルプをご参照ください。

「Ulead Photo Explorer」起動後、メニューバーより「ヘルプ」を選択し、「Ulead Photo Explorerのヘルプ」を選択してください。

選択



各ソフトウェアのオンラインマニュアルの参照方法

本書でご紹介したソフトウェアの詳しい使用方法については、ソフトウェア付属のユーザーズガイドまたはヘルプファイルをご参照ください。以下に参照方法を記します。

「Ulead Photo Explorer」

「Ulead Photo Explorer」起動後、メニューバーの「ヘルプ」より、「Ulead PhotoExplorer のヘルプ」を選択してください。

「Logitech MO デュプリケータ」

「スタート」 - 「(すべての)プログラム」 - 「Logitech」 - 「MOデュプリケータ」 - 「ユーザーズガイド」を選択してください。

「Logitech イジェクトコントローラ」

「スタート」 - 「(すべての)プログラム」 - 「Logitech」 - 「イジェクトコントローラ」 - 「ユーザーズガイド」を選択してください。

「Logitech フォルダミラーリングツール」

「スタート」 - 「(すべての)プログラム」 - 「Logitech」 - 「フォルダミラーリングツール」 - 「ユーザーズガイド」を選択してください。

「Logitech ディスクデータレイサ」

「スタート」 - 「(すべての)プログラム」 - 「Logitech」 - 「ディスクデータレイサ」 - 「ユーザーズガイド」を選択してください。

「Logitech ディスクフォーマッタ」

「スタート」 - 「(すべての)プログラム」 - 「Logitech」 - 「ディスクフォーマッタ」 - 「ユーザーズガイド」を選択してください。

「GIGAMO用セキュリティツール」

SecureMO Light 28 を起動後、ツールバーより「ヘルプ」を選択して「SecureMO Light28のヘルプ」を選択してください。